

2012年2月17日（金） 日刊工業新聞 19面

「誠実な企業」賞 最優秀賞にオムロン  
CSRや倫理、多面評価

企業の社会的責任（CSR）や企業倫理、コンプライアンス、内部統制などの分野で優れた活動に取り組む企業を表彰する「誠実な企業」賞で、オムロンが2012年の最優秀賞に選出されたことが分かった。3月22日に東京都中央区の東京証券取引所で表彰式を開く。また優秀賞には三井物産、ベネッセホールディングス（HD）が選ばれた。オリンパスの巨額損失隠しが発覚し、あらためて企業のコンプライアンスが注目される中、受賞企業の存在感が高まりそうだ。

CSR活動の推進を支援する産学の有識者で構成する「誠実な企業」賞審議会が決定した。インテグレックスが昨年下半年に上場企業約3600社を対象に調査し、それをもとに企業を推薦。その上で同審議会が受賞企業を審査していた。

受賞企業の選考については、各社それぞれの取り組みに関するトップマネジメントの関与の高さを重視したほか、企業理念の浸透や推進への取り組み状況、社内での意識共有・向上に関する進捗度などに注目して選出した。

このほか、日本の会計社会の発展に貢献した会計人奨励賞は公認会計士の小賀坂敦氏、ジャーナリストの磯山友幸氏に決めた。また経営者会計大賞にエーザイの内藤晴夫社長、会計人特別賞に公認会計士の西川郁生氏を選んだ。